

職員による自己評価

A環境面

- ・定員に対する各教室のスペースは確保出来ている
- ・職員の配置は適切である

B児童への支援内容

- ・面談の際の保護者からの要望と職員のモニタリングを通じて個々の支援計画書を作成し、無理のない支援が出来ている
- ・活動プログラムは固定化されないよう工夫している

C関係機関との連携

- ・学校とはお迎え時に情報共有をしている
- ・自立支援協議会に参加し情報交換をしている

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳・メール等で対応している
- ・保護者会は行っていない
- ・ホームページの活用

E非常対応

- ・年に2回避難訓練を実施している

保護者による評価

A環境面

- ・静かに過ごせるスペースがあり安心
- ・職員の人数が多い

B児童への支援内容

- ・個別の学習プログラムにより勉強に対する苦手意識がなくなり学習する姿勢が定着してきた
- ・子どもの特性を理解し対応してもらっている
- ・長期休みのプログラムを楽しみにしている

C事業所からの情報発信

- ・送迎時や面談時に直接伝えてもらっている
- ・困りごとは必要に応じてメールや電話で相談している
- ・保護者会がないので保護者間の連携はできていない

D非常対応

- ・緊急時・非常時マニュアルの説明は受けていない

事業所内での分析

- ・日々の学習プログラムや活動プログラムが定着し子どもも楽しみにしている
- ・個別対応は継続して手厚い支援ができています
- ・定期的に日々の活動の様子をホームページで発信している
- ・緊急時・非常時のマニュアルを整備する
- ・年2回の避難訓練は今後も実施する

分析・検討してみて…

事業所の強み

活動に適したスペースが確保できている

学習プログラムの定着

長期休みの活動プログラムが充実している

個別対応が手厚くできる

事業所の改善点

長期休みの活動の中に外遊びを取り入れる

中高生の活動プログラムを充実させる

緊急時・非常時等のマニュアルの周知徹底と
情報発信の見直し

事業所の改善への取り組み

- ・長期休みはなるべく外で体を動かすプログラムを取り入れる
- ・SST などを取り入れて中高生向けのプログラムを考案し実践する
- ・非常時等のマニュアルを策定し保護者に周知・説明をする

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

日々の短い時間の中で宿題を終え自分の時間を存分に楽しめ、
また、集団による活動もみんなで楽しめるよう職員一致団結して
笑顔を絶やさず取り組んで行きたいと思います。

事業所名 プレップ学習サポートセンター横浜
担当者 横山 恵利